

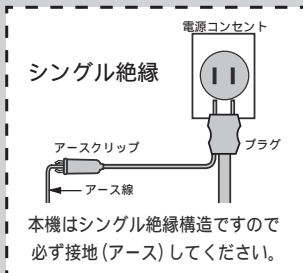
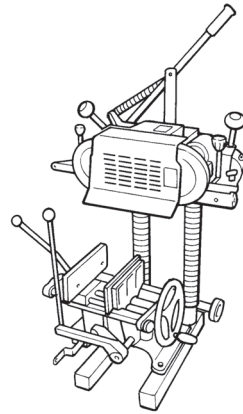
Makita

取扱説明書

小型アリカマホゾキリ

モデル 5520

モデル 55203



このたびは小型アリカマホゾキリをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をさせていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いいくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能		モデル	5520	55203
電 動 機			直巻整流子電動機	
電 圧			単相100ボルト	三相200ボルト
電 流			15アンペア	——
周 波 数			50-60ヘルツ	
消 費 電 力			1,430ワット	縦ノコ 850ワット 2台
				横ノコ 550ワット 2台
回 転 数	縦ノコ		毎分2,700回転	
	横ノコ		毎分3,600回転	
切込み能力	縦ノコ		90mm 最大240mm (3回切り)	
	横ノコ		68mm	
ノコの外径	縦ノコ		235mm	
	横ノコ		190mm	
ノ コ の 開 度			20～125mm	
加 工 材 寸 法			幅210mm×高さ300mm	
バ イ ス ベ ッ ド の 前 後 作 動 量			75mm	
機 体 寸 法			幅680mm×奥行846mm×高さ1,025mm	
重 量			85kg	

- ・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の△警告・△注意・注の意味について

ご使用上の注意事項は△警告と△注意、注に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1.ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

2.作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

3.作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

4.十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

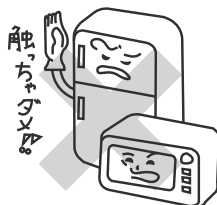
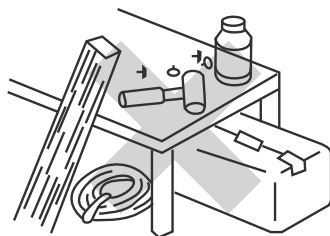
5.アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

6.感電に注意してください。

- ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。

（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）



⚠警告

7.子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

8.使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または、錠のかかる所に保管してください。

9.無理して使用しないでください。

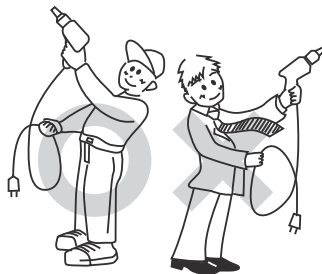
- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

10.作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には、使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

11.きちんとした服装で作業してください。

- ・ たぶたぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



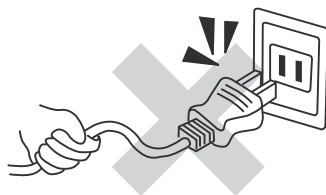
12.保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。
- また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



13.コードを乱暴に扱わないでください。

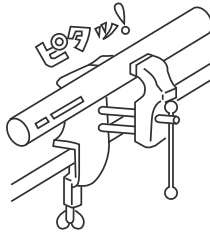
- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠警告

14.加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



15.無理な姿勢で作業しないでください。

- ・常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。

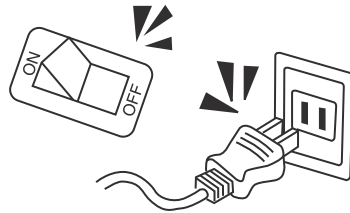


16.電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

17.次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他の危険が予想される場合。



18.調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしであることを確認してください。

19.不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

20.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

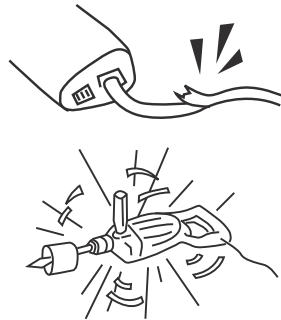
21.油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。



22.損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。



- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

23.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

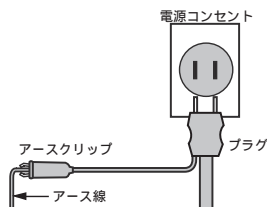
小型アリカマホゾキリ安全上のご注意

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、小型アリカマホゾキリとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

1.必ず接地（アース）してください。

- ・故障や漏電のときに感電する原因になります。
- ・接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・三相モデル（55203）をご使用の場合はキャプタイヤコードのアース線（緑色）で接地を行ってください。
- ・アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。
テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップまたはアース線と機械本体の金属部（外郭部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- ・漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。



※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2.アース線をガス管に接続しないでください。

- ・爆発の恐れがあります。

3.つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。（55203は4芯コード）

- ・アース線のないコードですと、感電の原因になります。

⚠警告

- 4.使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 5.三相モデル（55203）をご使用の場合、電源コード接続の際には主電源が切れていることを確認してください。
 - ・感電の恐れがあります。
- 6.使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 7.セーフティカバーを外したり、上に上げて固定したりして使用しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・けがの原因になります。
- 8.回転中のノコ刃に手や顔を近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- 9.使用中は軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

△注意

1. ノコ刃は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. ノコ刃が材料に接触していないことを確認してからスイッチを入れてください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. ノコ刃を回転させ横触れしていないか確認してから使用してください。
・ 思わぬけがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料はバイスで確実に固定してください。
・ 確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。
7. バイス部の長さの半分以下しかはさめないような極端に短い材料の加工は避けてください。
・ 材料がはずれやすく、けがの原因になります。
8. 材料の安定をはかる為、補助ローラを使用してください。
・ 材料が不安定だと、けがの原因になります。
9. 回転させたまま放置しないでください。
・ けがの恐れがあります。

注

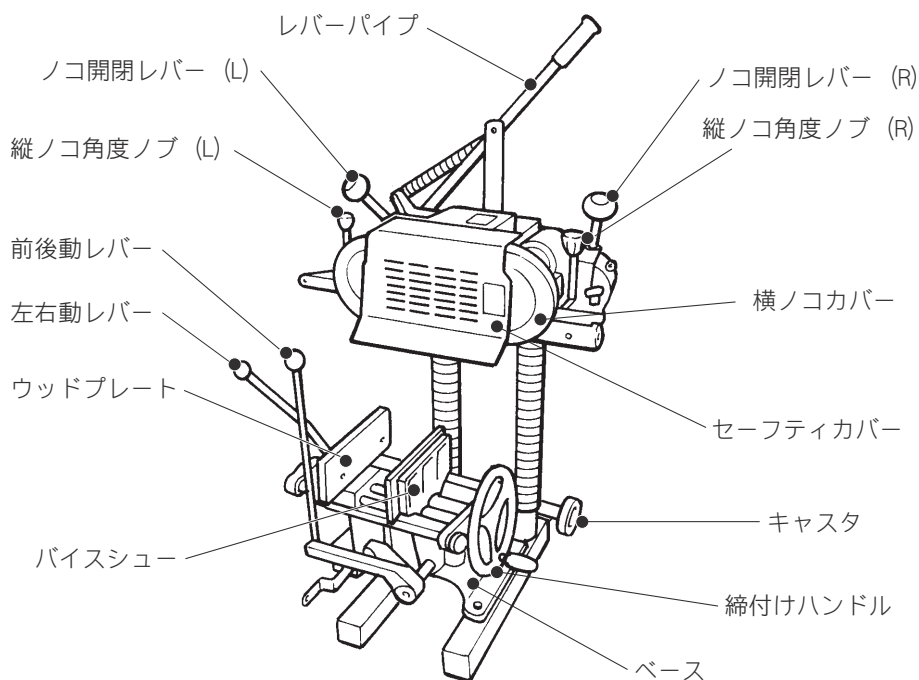
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

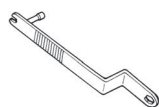
※上の表は100V仕様の場合です。200V仕様の場合は、上表の2倍の長さが限度となります。

各部の名称および通常付属品



通常付属品

・レンチ6-13



・六角棒スパナ6



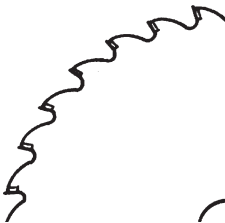
・スパナ13



・補助ローラ

・六角ボルトM8×35
2本 (アリ角度ストッパボルト用)
詳細はP19を参照

特別付属品（別販売）のご紹介

チップソー（縦びき用） 				
	No.	外径 (mm)	内径 (mm)	歯 数
	235-11AR	235	16	30
	235-11AL			

チップソー（横びき用） 				
	No.	外径 (mm)	内径 (mm)	歯 数
	190-11A	190	20	50

使い方

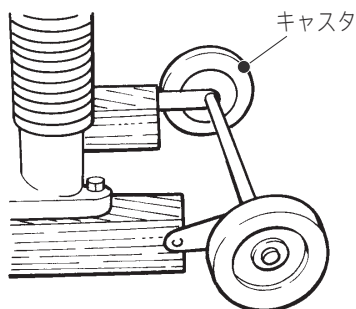
運搬・移動

⚠注意

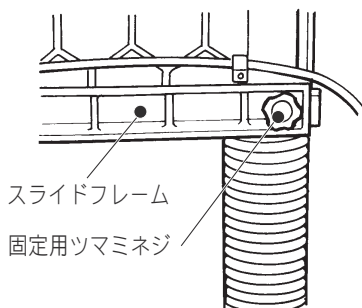
1. キャスタのセットおよび機械の移動時は、足元に気をつけてください。
・ けがの原因になります。
2. 下限で固定する場合は、スリーブと固定用ツマミネジにすきまのないようにしてください。
・ すきまがあると強く固定できていませんので、スライドフレームが動いてけがの原因になります。
3. 本機を持ち上げるときはスライドフレームなど昇降する部分を持たないでください。
・ 突然動く恐れがあり、けがの原因になります。

本機の移動

- ・ 本機を移動したい時は脚部についているキャスタを使用してください。



- ・ 本機の移動・運搬時にスライドフレームを下限で固定する場合は、本機背面にある固定用ツマミネジを使用してください。

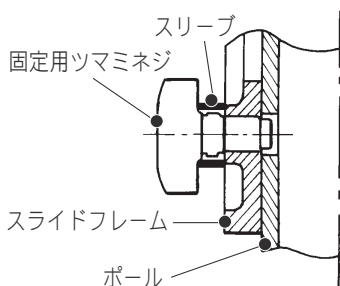


- ・ スライドフレームを下限にして固定用ツマミネジをスリーブに当たるまで締め込んでください。パールの穴に固定用ツマミネジの先端が入り強く固定できます。

使い方

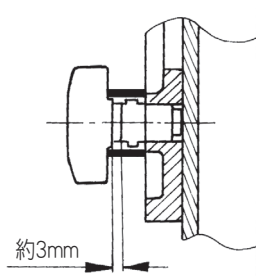
下限にて固定する場合

ツマミネジとスリーブが接触している。



下限以外で固定する場合

ツマミネジとスリーブの間に約3mmのすき間ができる。

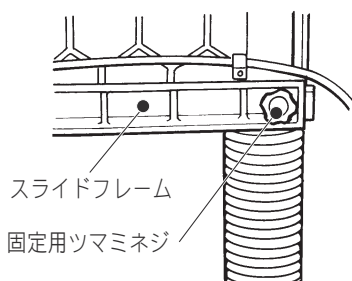


機械の設置

- ・機械は、キャストを上げ、明るくて足場のよい平坦な場所に安定した状態で設置してください。

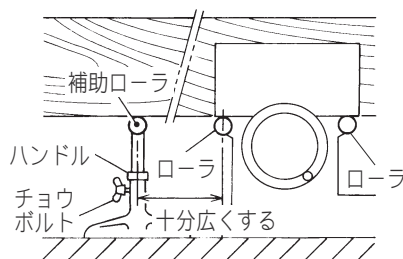
お使いになる前の準備

- ・スライドフレーム固定用のツマミネジをゆるめてください。
- ※出荷時ツマミネジは、締めてあります。



補助ローラの高さ調整

- ・補助ローラは、チョウボルトをゆるめ、ハンドルを回してバイスのローラ上面と同じ高さに調整してください。調整後はチョウボルトをしっかりと締め付けてください。



⚠注意

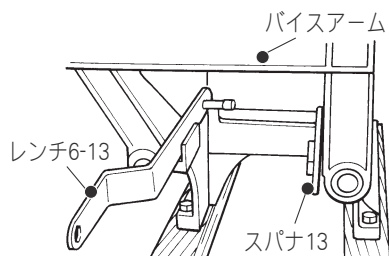
補助ローラは、バイスをゆるめたときに、材料のノコ側が急に浮き上がったたり、バイスを前に送ったときに材料がはずれたりしない位置に設置してください。

- ・けがの原因になります。

使い方

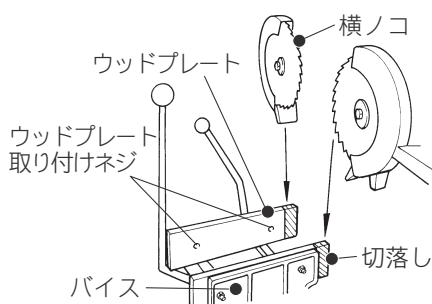
工具の収納

- ・ バイスアームに工具収納用の溝があります。レンチ等工具を差し込んで保管してください。



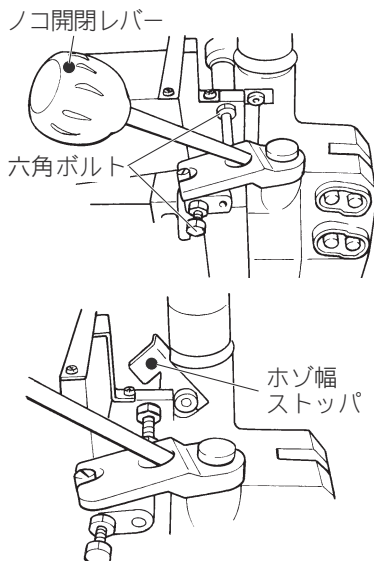
ウッドプレートの調整

- ・ ウッドプレートはバイスをいっぱいまで前進させたときに横ノコ刃先に接するよう調整されています。
- ・ この調整が狂ったり、ウッドプレートの端が荒れた場合にはバイスを前進させて、取り付けネジをゆるめウッドプレートをノコ側に動かして、取り付けネジを締め、横ノコでウッドプレートの端を切り落としてください。



ホゾ幅の調整

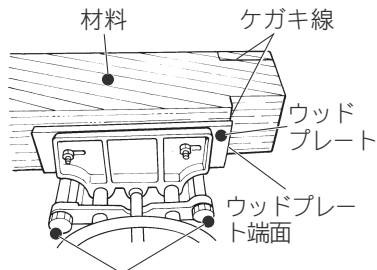
- ・ ホゾ幅（ノコの開度）を調整するときは、左右のノコ開閉レバーを左に回してゆるめ希望の位置まで動かし再びノコ開閉レバーを締め付けてください。ノコ開閉レバー横の2本の六角ボルトで2種類のホゾ幅が設定できます。ナットをゆるめて六角ボルトを希望の位置に設定し、再びナットを締めて固定してください。
- 出荷時にはホゾ幅30mmと90mmに調整してあります。左右のホゾ幅ストッパを解除すれば、左右ノコは最大125mmまで広げることができます。



使い方

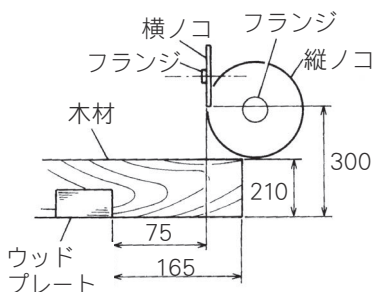
材料の位置決め・固定

- ・材料をバイスに載せバイス微調整ローラのノブを回して材料のケガキ線をウッドプレートの端に合わせてください。
締め付けハンドルを回して材料をしっかり固定してください。

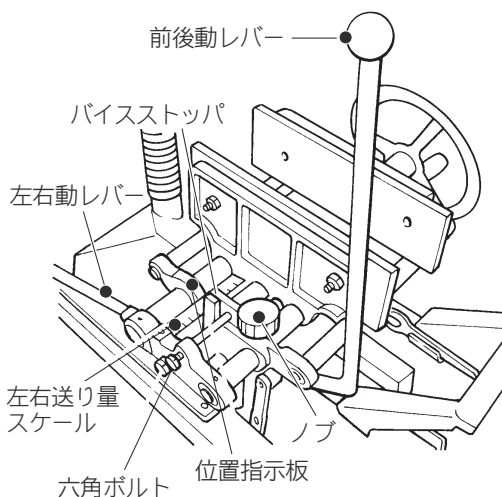


バイス微調整ローラノブ

- ・ウッドプレートの端から出す材料の長さは、材料の高さが210mm以下の時は165mm以内、210mm以上（最大300mm）の時は75mm以内にしてください。それ以上長いホゾを切断するときは、この寸法内で切断（切断方法参照）した後、バイスをゆるめ木材をノコ側に動かして再度締め付けて切断してください。（最長240mm）



- ・締め付け後、材料を左右方向に移動させるときは、ノブをゆるめ左右移動レバーを操作して移動させ、再びノブを締め付けてください。バイスストップに六角ボルトの先端を当てるとノコ刃とバイスの中心が一致し、位置指示板が0点を指します。バイスを0点より右へ移動させる場合はバイスストップを上へ回転させて、六角ボルトが当たらないようにしてから行ってください。
前後方向は、前後移動レバーを操作して行ってください。
前後移動を固定する場合は、レバーを締め付けてください。



- ・バイスの横に前後送り量スケールがあります。前後送り量の目安にしてください。

使い方

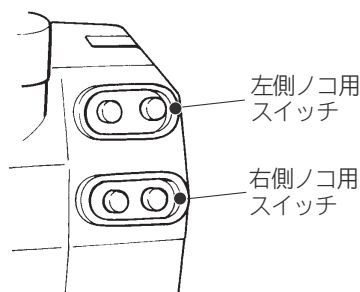
スイッチの操作 (5520用)

⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

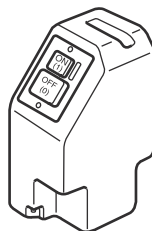
・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- ・スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。スイッチは上が左側のノコ用、下が右側のノコ用です。



スイッチの操作 (55203用)

- ・スイッチは「ON」側を押すとすべてのモータが始動します。
「OFF」側を押すと切れます。



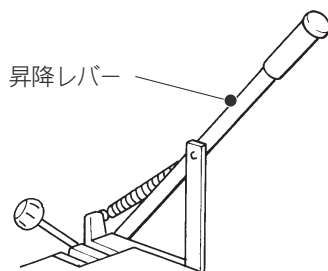
切断方法

⚠注意

昇降レバーを急激に降ろしたり、強く押しすぎないでください。

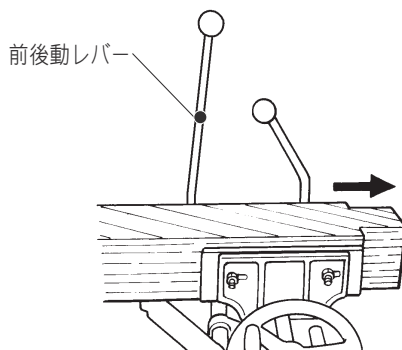
・強い反発を生じ、けがの恐れがあります。

- ・ノコ刃が材料に接触していないことを確認してからスイッチを入れ、ノコ刃の回転が安定したら昇降レバーをゆっくりと降ろして切断してください。



使い方

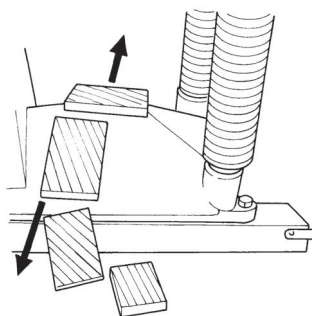
- ・ 一回の切込みは、90mm以下です。
ホゾ長が90mm以上ある場合は、バイスを後に下げ、1回の切込みを調整して2回、3回に分けてバイスを前に送り切断してください。
最大ホゾ加工長さは240mmです。
- ・ 材料の高さが210mm以上ある場合は、材料がノコ刃に当たらない位置までバイスを後ろに下げてスイッチを入れバイスをゆっくり前に送って縦ノコで切断し、昇降レバーを降ろし切断してください。



木片の排除

⚠ 警告

- 1.作業前にベース上の木片を必ず取り除いてください。
 - ・ 木片をノコ刃で引っ掛けて飛散し、けがの原因になります。
- 2.木片を取り除くときは必ずスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してから行ってください。
 - ・ けがの原因になります。



使い方

各種ホゾの加工方法

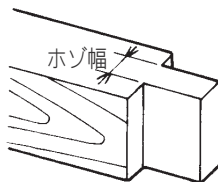
⚠注意

平・アリ・カマの各ホゾの切替作業は、必ずスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してから行ってください。

・けがの原因になります。

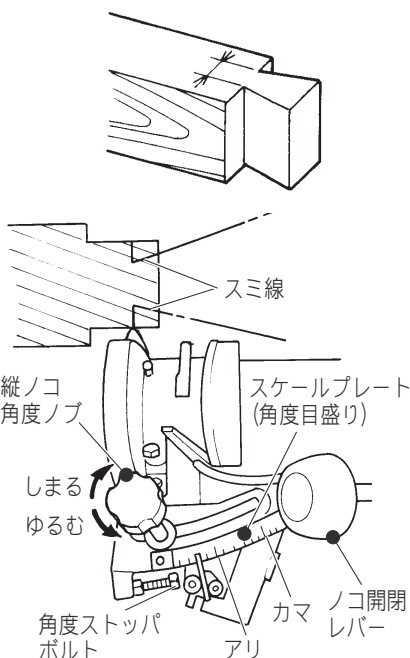
<平ホゾ>

- ・ノコ開閉レバーを操作して、縦ノコをホゾ幅に合わせてください。



<アリホゾ>

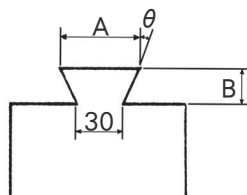
- (1) ノコの開閉レバーを操作し、寸法に合わせてください。
- (2) 縦ノコ角度ノブを緩めて、スケールプレートの矢印の方向に回し、スミ線または角度目盛りに縦ノコ角度を合わせノブを締め付けてください。
- (3) 角度ストッパボルトは（アリ側）アリホゾ角度換算表の1～4にセットしてください。
出荷時には2（アリ角度16.7°）に調整してあります。
- (4) 下表4に設定するときには角度ストッパボルトを付属の短いボルトと取り換えてください。



<アリホゾ角度換算表>

A、B=m/m

No.	A	B	θ
1	45	30	14°
2	48	30	16.7°
3	45	24	17.4°
4	48	24	20.5°



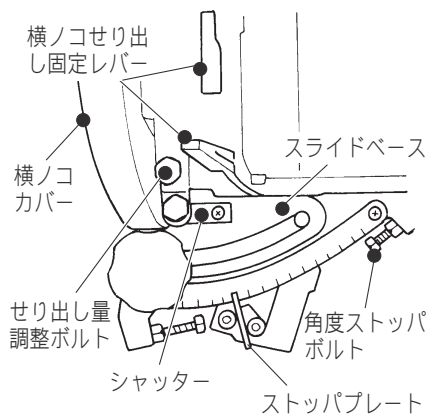
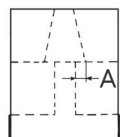
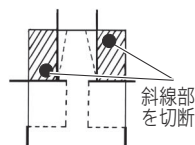
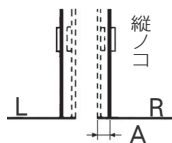
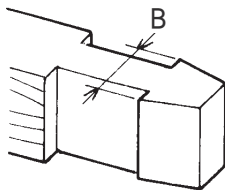
使い方

<カマホゾ>

- (1) ノコ開閉レバーを操作し、縦ノコの間隔をB寸法に合わせてください。
- (2) 横ノコせり出し固定レバーを緩めてください。シャッターを開いて横ノコカバーを回して（右ノコは右・左ノコは左）カマの首の溝（A寸法）の分だけ横ノコをせり出し、固定レバーをしっかりと締め付けてください。

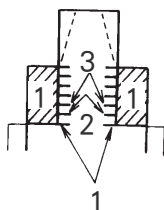
せり出し量調整ボルトをスライドベースに当たる位置に調整して、固定してください。

出荷時にはせり出し量は、9mmに調整してあります。



- (3) カマの首の溝加工をします。

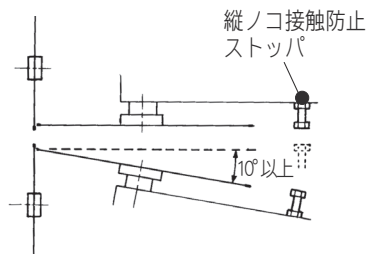
- ・ 胴突きを先に加工すると容易になります。バイスを後退させながら 1、2、3 …… の順に加工してください。



使い方

- (4) 右縦ノコを角度ノブをゆるめて、アリ角度 10° 以上にして固定してください。

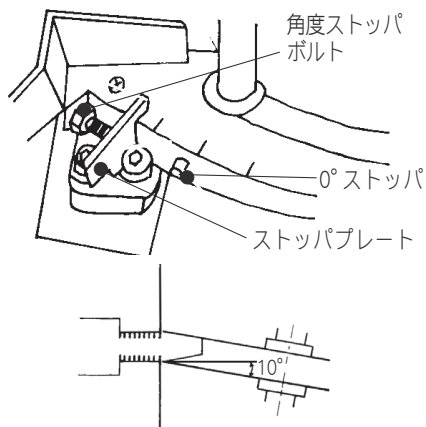
縦ノコ接触防止ストッパが付いていますので右縦ノコをアリ側にしておかないと、左縦ノコをカマ側へすることができません。



- (5) 角度ノブをゆるめて、ストッパプレートをつかんで 0° ストップアのスプリングピンをのり越えさせ、左縦ノコ角度をカマ側にしてください。

ケガキ線または角度目盛りにて縦ノコの角度を合わせノブを締め付けてください。その位置を角度ストップアボルト（カマ側）でカマホゾ角度換算表の1～4にセットしてください。

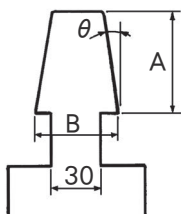
出荷時には2（カマ角度 6.8° ）に調整してあります。



＜カマホゾ角度換算表＞

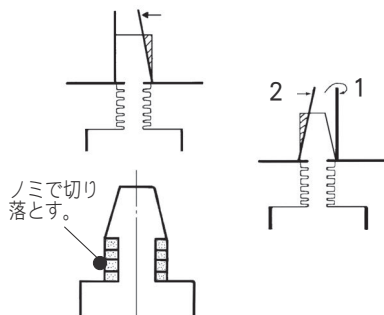
A、B = m/m

No.	A	B	θ
1	75	45	5.7°
2	75	48	6.8°
3	60	45	7.1°
4	60	48	8.5°



- (6) カマの勾配を加工します。
カマの勾配は方眼ずつ加工してください。

反対側も同じ手順にて加工してください。



- (7) ノミで最終仕上げをしてください。

使い方

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜くか、または電源を配電盤で遮断してください。

・電源をつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠注意

1.ネジの六角穴にたまったゴミなどは必ず取り除き確実にレンチをはめ込んで作業してください。

・十分にはめ込まずに作業すると六角穴やレンチが損傷するだけでなくけがの原因になります。

2.運転するときには、必ずシャフトロックが解除されていることを確認してください。

・思わぬけがの原因になります。

注

フランジ面にはゴミなどの付着のないようきれいにして取り付けてください。

・ノコ刃のフレやスリップの原因となります。

使い方

縦ノコの取りはずし・取り付け方

⚠注意

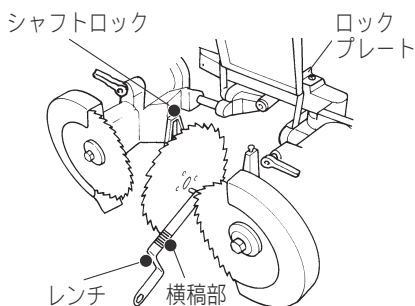
1. ノコ刃を取り付けるときは、バイス側から見て右がR、左がLになります。
ノコ刃の表示に合わせて取り付けてください。
R・Lを逆に取り付けて使用すると刃先を傷めるだけでなく、けがの原因にもなります。
2. ノコ刃を取り付けるときは、レンチの横稿の部分握ってネジをしっかりと締め付けてください。
横稿の部分より外側を握って強く締め付けると、六角穴が損傷するだけでなく、けがの原因になります。

注

- ・ ネジ締め付け後は4本のネジが均等に締まっているか確認の為再び締め付けを行ってください。
- ・ 均等に締まっていないとフレの原因になります。

取りはずし方

- ・ ノコ刃を取りはずすときは、スライドフレームを上限にし、固定用ツマミネジを締めてください。次にセーフティカバーを上げてロックプレートにて固定してください。
- 左右のホゾ幅ストッパを上げ、ノコ刃を最大まで開いてレンチの六角棒をネジの六角穴に確実に挿入してください。
- シャフトロックを押してノコ軸の回り止めをして、ネジを緩めてはずしてください。



取り付け方

- ・ 取り付けるときは、取りはずし方の逆の要領で行ってください。

使い方

横ノコの取り付け・取りはずし方

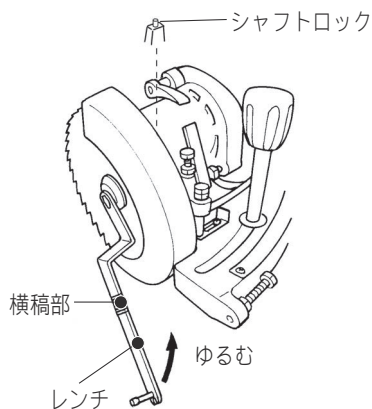
⚠注意

ノコ刃を取り付けるときは、レンチの横稿の部分を持ってネジをしっかりと締め付けてください。

- ・横稿の部分より外側を握って強く締め付けると六角ボルトが損傷するだけでなく、けがの原因になります。

取りはずし方

- ・ノコ刃を取りはずすときは、スライドフレームを上限にし、固定用ツマミネジを締めてください。次にセーフティカバーを上げてロックプレートにて固定し、シャフトロックでノコ軸の回り止めをして、レンチでノコ刃を締め付けている六角ボルトを緩めてはずしてください。



取り付け方

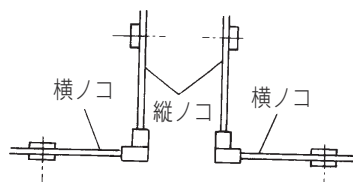
- ・取り付けるときは、取りはずし方の逆の要領で行ってください。

使い方

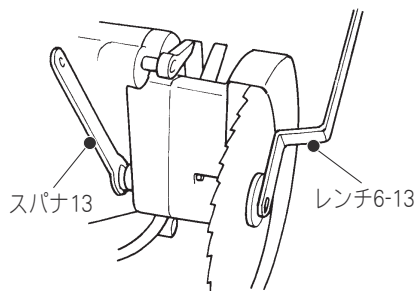
ノコ刃の刃先調整

- ・ノコ刃の調整は、横ノコを前後左右に動かして、縦ノコと横ノコの刃先が図のような位置になるように調整してください。

なお、出荷時には調整してあります。

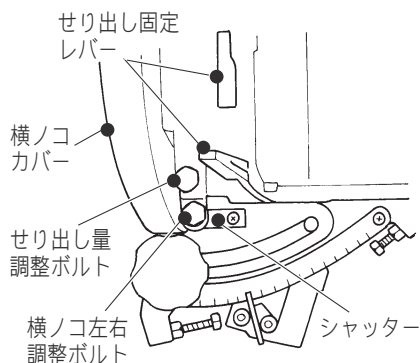


- ・横ノコの前後調整は、レンチ6-13で横ノコ軸後部の六角ボルトを固定し、スパナ13でノコ刃を締めている六角ボルトを回して行ってください。横ノコの前後調整が済みましたら、シャフトロックでノコ軸を固定し、横ノコの再締め付けを行ってください。



- ・横ノコの左右調整は、せり出し固定レバーを緩め、横ノコカバーを左右に回して調整してください。調整後は、せり出し固定レバーを締め付けてください。

- ・横ノコ左右調整ボルトは、シャッターに当たる位置で固定してください。カマ・ホゾのせり出し量は、せり出し量調整ボルトで調整してください。



保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜くか、または電源を配電盤で遮断してください。

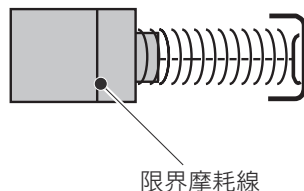
・電源をつないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。

注

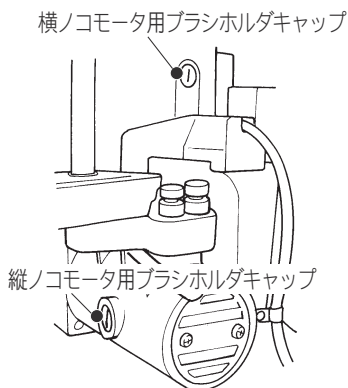
・機械の摺動部・回転部は、さびないように使用した後は油を塗ってください。

カーボンブラシの交換

- ・カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換の際は、当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



- ・左右のモータ部をいっばいに開きお手持ちのネジ回しで本機のモータケース部に組み付けてあるブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えてブラシホルダキャップを組み付けてください。
それぞれのモータのカーボンブラシは2個で1組になっております。
取り替える場合は、必ず左右とも同時に行なってください。



保守・点検について

ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881789B7
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）